

米国企業が、ベトナム AI 企業の株式を取得

2025 年 4 月 16 日 作成

カテゴリー ベトナム市場調査 デジタル経済・IT

米国企業が、ベトナム AI 企業の株式を取得

2025 年 4 月 1 日、ベトナム大手複合企業 Vingroup（証券コード：VIC）は、傘下の人工知能（AI）企業 Movian AI に保有していた全株式（65%）を、米国の半導体大手 Qualcomm へ売却したと発表した。これにより、Movian AI は Vingroup の子会社ではなくなった。取引金額は両社とも非公開としている。

Movian AI は、2024 年 11 月に Vingroup が既存の AI 企業 VinAI から分離・設立した企業であり、資本金は約 2270 億 VND（約 12 億円）。設立当初から Vingroup が主要株主として 65% を保有し、AI 関連の科学技術研究や応用開発を行ってきた。今回の売却により、Movian AI の共同創業者で CEO のブイ・ハイ・フン氏が Qualcomm に合流する。

買収した Qualcomm は、スマートフォン向けチップ「Snapdragon」シリーズで知られる世界的な半導体メーカーであり、近年は AI 機能を搭載したスマートデバイス向け製品の開発に注力している。Qualcomm は 2020 年にハノイに R&D センターを設置し、ベトナム市場での技術開発にも力を入れている。

Vingroup は、VinAI、VinMotion、VinBigData、VinRobotics、VinTech など、引き続き複数の AI 関連子会社を保有しているが、2024 年 12 月には別の AI 企業 VinBrain を米 NVIDIA へ売却しており、AI 部門の再編や国際連携が加速している。

今回の取引は、Vingroup が AI 事業の資源再配分とグローバル企業との戦略的提携を進めていることを示しており、今後のテック分野の国際化・資本流動性の一環として注目される。特にベトナム国内の AI スタートアップが国際市場に認知される大きな前進ともいえる。

以上